

# 和歌山県認知症疾患医療センター

# 市民公開講座

「私は今、人生の黄昏に向けた旅に出発します」とレーガン元大統領がアルツハイマー病であることを公表したのは、退職後5年目、1994年(83歳)のことでした。当時、その率直さの勇気に世界中が驚きました。あれから20年。この間に認知症の医療と介護は格段に充実しました。また認知症を社会全体で支えていこうとする理解が進みつつあります。

今回の市民公開講座ではレーガン元大統領のことをはじめ、認知症の医療についてセンターの担当医師がわかりやすく解説します。

日時 平成25年 **12月14日**(土)  
14:00~16:00(開場13:00)

会場 **和歌山県立医科大学 講堂**  
和歌山市紀三井寺811-1

定員 500名 **参加費無料** 申し込み不用  
どなたでもご参加ください

## 講演1 「大統領とアルツハイマー病」

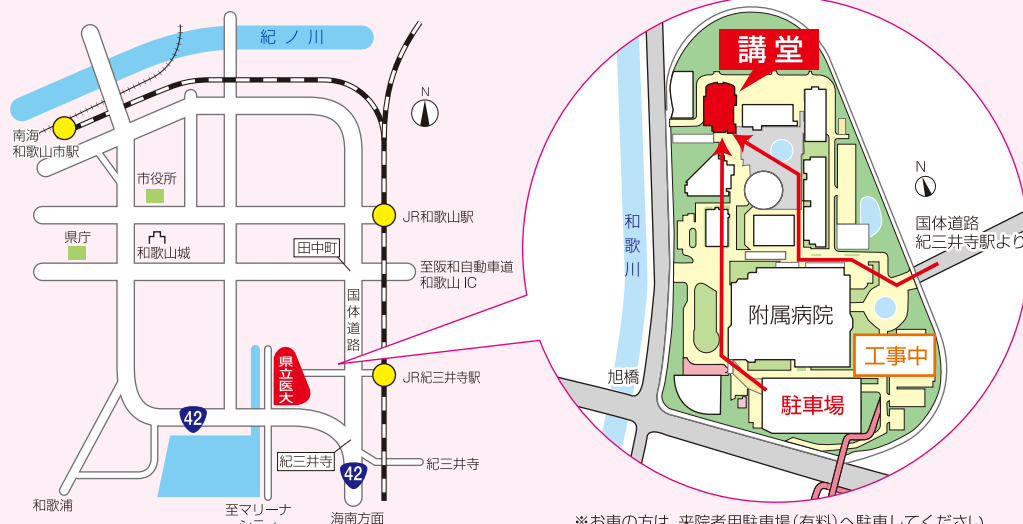
和歌山県立医科大学附属病院 神経内科 講師 廣西 昌也

## 講演2 「認知症の診断と治療~認知症センターの症例より~」

和歌山県立医科大学附属病院 脳神経外科 准教授 小倉 光博

## 講演3 「精神科からみた認知症」

和歌山県立医科大学附属病院 神経精神科 教授  
認知症疾患医療センター長 篠崎 和弘



主催：和歌山県認知症疾患医療センター 共催：和歌山県

(お問い合わせ先 和歌山県立医科大学附属病院 認知症疾患医療センター 電話073-441-0776)

